

授業科目名	【G】 西洋法制史	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2		
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目（一・地歴・一・一）							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための（一・地歴必修・一・一）科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項：「外国史」（高一種免地歴）							
サブタイトル	近代法が成立するまでの法史を学ぶ			担当者	大上 尚史			
授業概要	【概要】	この授業では、古代ローマから近代市民法が成立する時代までの、法の歴史を概観します。日本法は明治期に大陸法、戦後に英米法の影響を受けて成立しました。どのような政治的、経済的、社会的、文化的状況で、西洋法が発展してきたのかを、歴史を振り返りながら学んでいきます。						
	【到達目標】	①ローマ法がヨーロッパ大陸法に与えた影響について説明することができる。 ②大陸法と英米法の違いについて説明することができる。 ③西洋法が日本法に対して与えた影響を説明することができる。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎（よく当てはまる）						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－（当てはまらない）						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－（当てはまらない）						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－（当てはまらない）						
他科目との関連性	歴史系の科目や法思想史などをあわせて履修すると理解が深まります。							
教科書	クヌート・ヴォルフガング・ネル『ヨーロッパ法史入門』（東京大学出版会、1999年）							
参考書	勝田有恒、森征一、山内進『概説 西洋法制史』（ミネルバ書房、2004年）							
評価方法	授業中に実施するリアクションペーパー（50%）と学期末レポート（50%）によって総合的に評価します。							
フィードバック方法	リアクションペーパーやclassroomで質問を受け付け、次回授業時冒頭に回答します。 学期末レポートは、採点・評価後に解答ポイントについて解説します。							
評価基準	上記授業の内容について、これを良く理解し、適切に表現できた者には「A」（うち特に優れたものには「S」）を、授業の内容についての理解や表現に不適切な点がある者には、その程度に応じて「B」または「C」を、授業の内容についての理解自体が不十分な者には、その程度に応じて「D」または「E」を与えます。 学期末レポートが未提出である等、評価不能の場合には「F」とします。							

授業科目名	【G】 西洋法制史	区分		開講年次	【G】3	単位数	【G】2
		その他参照					
授業回数	授業内容						
1	西洋法制史を学ぶ意義						
	予習:	教科書の目次、導入部を読んでおくこと。(60分)			復習:	西洋法制史を学ぶ意義を整理する。(120分)	
2	古代ローマ法						
	予習:	古代ローマの歴史を調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
3	中世の法						
	予習:	中世ヨーロッパの歴史を調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
4	ローマ・カノン法						
	予習:	中世ヨーロッパの教会制度を調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
5	イギリス法の歴史						
	予習:	イギリスの歴史を調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
6	ローマ法の継受						
	予習:	近世ヨーロッパの歴史を調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
7	主権国家の成立						
	予習:	主権国家の特徴について調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
8	自然法の歴史						
	予習:	自然法について調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
9	法典編纂						
	予習:	18世紀ヨーロッパの社会状況について調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
10	アメリカ法の歴史						
	予習:	アメリカの歴史を調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
11	近代市民法の成立						
	予習:	フランス革命について調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
12	市民法の変容						
	予習:	19世紀ヨーロッパの社会状況について調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
13	現代法						
	予習:	市民法にどのような問題があるか考える。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
14	西洋法の日本法への影響						
	予習:	近代日本における法典編纂の歴史を調べる。(60分)			復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)	
15	総括(レポートの解説を含む)						
	予習:	西洋法制史を学んで抱いた疑問を整理する。(60分)			復習:	質疑応答を通して、理解したことをまとめる。(120分)	
その他	<p>授業中の私語が著しい場合や他の受講者の迷惑となることをしている場合には、退室をお願いすることがあります。 授業の予習復習以外に、レポート作成のための授業外学習が必要となります。主体的な姿勢での取り組みを望みます。</p> <p>※Gカリ:【選択必修修(ス)】</p>						